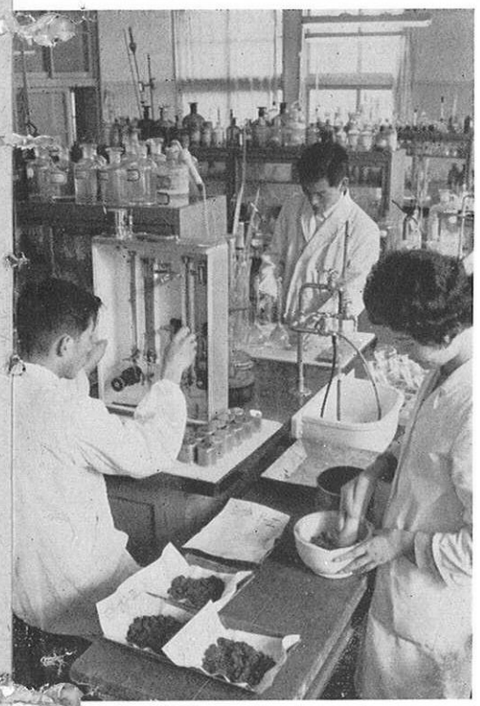
★ ★

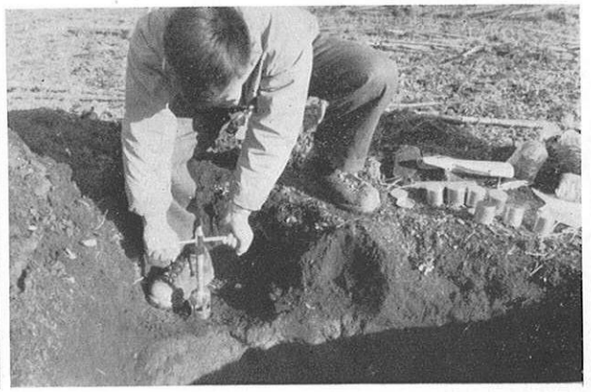
いま県の農業試験場では地力保全のための基本調査を10年計画で行つている。これは球磨郡錦村での調査班の活動ぶりである。 （くわしくは次頁を）

上、サア…調査開始だ。まず目的地へ向つて出発……

下、現地で採取したサンプルは実験室で分析される。



★ 右上・化学分析用土壌サンプルの採取
右中・断面調査における土色の判定も入念に
右下・土壌三相の分布を調べるため、採土器で土を採取する



★ ★

下、地力判定試験地での麦の種播き

土の総合診断はじまる

県農試で地力保全のための基本調査

いま県農業試験場で、地力保全のための基本調査が行われている。この調査は、県下全域の畑地約四万五千ヘクタール（開拓地を含む）にわたつて、これから十カ年計画で実施されるもので、いわば土地改良のための総合的な「畑地類型区分図」がこれによつて作成されるわけである。

今まで、こういつた性質の調査は、例えば秋落地帯とか酸性土壌地帯等に対して、それぞれ目的を絞つて行われていた。

この基本調査は、例えていえば、今までのが風邪や腹痛などの部分的な治療のための処方であつたのに対して、こんどは総合的なドック入りをするようなものである。

調査の方法は……★

この調査では、総合的に、作物生産にマイナスになるような要因がすべて調査される。

調査の方法にはいろいろあるが、まず

▼従来までき上つている土壌調査資料を基にして、二十五ヘクタールを単位に試坑調査をし、又二ヘクタール当り一カ所にボーリング調査が行われる。この場合調査対象になつた農家及び周辺地区の農家に対しては、昔から現在までの営農調査も同時に行われる。

▼調査地域から持帰つた土は、試験場で、いろいろの物理・化学分析が行われ資料が作成される。

▼調査対象地の町村に対しては、地力判定試験の成績を提供し、農家生産の資料に利用する。

▼この調査の結果、各種の類型区分図が作成される。

調査による効果……★

多角的に調査された資料は、土地改良を進めるための対策に大いに活用される。たとえば、

1 深耕
2 土層改良
3 有機物（堆厩肥、緑肥など）の増施
4 微量要素（マンガン、モリブデンなど）の補給
5 畑地かんがい
6 土壌保全（浸蝕の予防）

などの対策にはこの資料が不可欠なものとされている。

計画はどう行われるか…★

まず三十四年度は、すでに昨年の十二月から今月にかけて球磨郡錦村及び上村と上益城郡益城町が行われている。三十五年度は予定として、飽託郡北部村、菊池郡合志村、旭志村、阿蘇郡阿蘇町、水俣市、天草郡大矢野町が挙げられている。

なおこの調査と併行して、三十四年度から三カ年計画で、別に、開拓地の地力保全調査が行われているが、これは、特に開拓地の振興対策の一環として開拓問題全般についても、総合的な方法で実施されている。

警備

事故のない明るい……国体めざして……■

熊本国体を間近かにひかえて、警備部では〝明るい国体、無事故の国体〟をモットーに懸命に対策を検討している。

特に国体には両陛下をはじめ各皇族方をお招きし、又全国からの参加者や観衆が多数来熊するので、会場の警備や雑踏整理には相当な指導取締が必要とされるのは勿論である。

警備部では、すでに昨年四月から関係方面と数回にわたり水前寺競技場周辺、御巡幸コース、選手輸送経路、駐車場予定地等の実地調査を行い、具体的な対策を検討してきている。

昨年の県体では、各開催地の競技場や

（8頁から）

ため、地区によつては正規の旅館以外に宿泊可能な施設が相当利用されると思われる。従つて宿舎、露店、食品販売店など特に食中毒防止の上から指導と監視、取締には力を入れる。

（環境衛生）

各開催地の汚物を処理するとともに、ねずみや衛生害虫を完全に駆除して、生活環境を清潔にするよう指導に重点をおいている。

（飲用水の管理）

水質検査を励行し消毒の徹底をはかる

（栄養指導）

運動選手の嗜好も考慮して栄養的に十分な食物を給与し、十分な力が発揮できるよう基準献立を作成して各開催地で講習会を開くようにしている。

（狂犬病予防）

特に今年度の登録、予防注射の徹底を図るため、会期中は犬の所有者の協力を期待している。

（医療救護）

各競技場、案内所、宿舎における医療救護は開催地事務局に、開閉会式の医療救護は、県とそれぞれ参加選手、役員及び観覧者に対して快適な条件のもとに充分活躍、観覧ができるよう計画をたてゝいる。

次に事故のない、明るい国体をめざして警備対策に努力している警備部の状況についてのべよう。